

読 響

Yomiuri
Nippon
Symphony
Orchestra

荘厳なサウンド、瞬くメロディ
宇宙の神秘を描いた《惑星》

HOLST *The Planets* ELGAR *Cello Concerto*

デイトン・ファールの芸術監督などを務め
世界の檣舞台で活躍する俊英

指揮=原田慶太楼
Conductor= KEITARO HARADA

©Shon Curtis

女声合唱=東京音楽大学
Women's Chorus= Tokyo College of Music

エルガー：チェロ協奏曲 ホ短調 作品85

ELGAR: Cello Concerto in E minor, op. 85

ホルスト：組曲「惑星」 作品32

HOLST: The Planets, op. 32

古典から現代作品まで幅広いレパートリーを誇り
バリ管、ウィーン響などと共演する名手

チェロ=ジャン＝ギアン・ケラス
Cello= JEAN-GUIHEN QUEYRAS

読売日本交響楽団 第293回土曜マチネーシリーズ
Saturday Matinée Series No. 293

2027年 **1月16** 日(土)
Saturday, 16 January 2027

読売日本交響楽団 第293回日曜マチネーシリーズ
Sunday Matinée Series No. 293

2027年 **1月17** 日(日)
Sunday, 17 January 2027

1回券
10月11日(日)
一般発売

各14時開演 東京芸術劇場 コンサートホール
14:00 Tokyo Metropolitan Theatre Concert Hall

SY8,800 AY6,600 BY5,500 CY5,000

お申し込み・お問い合わせ
読響チケットセンター **0570-00-4390** (10時~18時・年中無休)
<https://yomikyo.or.jp/>

主催：読売新聞社、日本テレビ放送網、読売テレビ、読売日本交響楽団

共催：東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)

助成：文化庁文化芸術振興費補助金(舞台芸術等総合支援事業(公演創造活動))
独立行政法人日本芸術文化振興会

■ 学生の方は残席がある場合、¥2,000で入場できます(要学生証/25歳以下)。ただし席を選ぶことはできません。開演1時間前から受付で整理券を配布します。■ 都合により曲目、出演者等が一部変更される場合がございます。■ ご購入いただいたチケットは、キャンセル・払い戻しはできません。あらかじめご了承ください。■ 未就学児のご入場は、固くお断りいたします。

©Marco Borggreve

時代が生んだ2つ星。 原田&ケラスが織りなす名曲プログラム！

週末の午後に至福のひと時を楽しむ「土曜・日曜マチネーシリーズ」。2027年の幕開けは、アメリカを中心に活躍する原田慶太楼と世界的チェロ奏者ケラスという2人のスターが飾ります。

26年3月まで東京響の正指揮者、現在はデイトン・フィルの音楽・芸術監督や愛知室内オーケストラの首席客演指揮者など、数多くのポストを歴任する原田。いま最も注目を集めるマエストロの1人と言えるでしょう。1等星の如く輝かしい経歴が物語っているように、その実力は折り紙付き。読響とも19年以降たびたび共演を重ねており、エネルギッシュなタクトで快演を披露しています。活躍の幅をますます広げる彼が奏でる音楽は聴き逃せません。

加えて、世界中の聴衆を魅了しているジャン＝ギアン・ケラスにもご注目。近現代作品の委嘱・初演をライフワークとする彼は、作品の本質を的確に捉えた演奏が特徴的です。その手練が紡ぐ旋律は、まるで宇宙に流れる天の川のよう。煌めく音のひとつひとつが集まって、壮大で美しい音楽世界を創り出します。名手ケラスはコンサートホールを陶酔的なサウンドが響く異空間へと塗り替えるでしょう。

2人の腕利きが奏でる音色を楽しむのに相応しいプログラムが用意されました。エルガー作曲のチェロ協奏曲は、淡い哀愁が漂う名作。第一次世界大戦中に書かれた故のメランコリックなメッセージを、ケラスは深い愛情をもって掬い上げるに違いありません。ホルストの組曲「惑星」は言わずと知れた超有名曲。天体と、それを司る神々の名を冠した7つの曲で多彩なストーリーを展開します。緊迫した旋律が特徴的な「火星」から、女声合唱の深遠な歌声が響く「海王星」まで。この幻想的な音絵巻を原田はどう描くのでしょうか。

エルガーとホルスト、原田とケラス。同じ時代に生まれ、同じ場所で活躍する芸術家たち。そんな彼らが形作る、星座のようなハーモニーを心ゆくまでご堪能ください。



©Shon Curtis

原田慶太楼 (指揮)

KEITARO HARADA, Conductor

日欧米を中心に躍進を続けている期待の俊英。1985年、東京生まれ。インターロックン芸術高校音楽科にて指揮を学ぶ。2021年から26年3月まで東京響の正指揮者を務め、古典から現代に至るまで多彩な作品を取り上げて人気を博す。日本人作曲家の作品演奏にも力を入れ、東京響とサントリーホール主催の「新曲チャレンジ・プロジェクト」は自身の熱い想いが詰まった企画となって実現された。24年から愛知室内オーケストラの首席客演指揮者兼アーティスティック・パートナー、25年からはデイトン・フィルの芸術監督に就任するなど活躍の幅を広げている。これまで米国ショルティ財団キャリア支援賞を6度、23年には日本人初となるトップのコンダクター賞を受賞した。読響とは19年の初登場以降、多数共演。

ジャン＝ギアン・ケラス (チェロ)

JEAN-GUIHEN QUEYRAS, Cello

現代作品も数多く手掛け、幅広いレパートリーで意欲的な活動を続ける世界的チェリスト。1967年モントリオール生まれ。ウィーン・ムジークフェライン、ウィグモアホール、カーネギーホールなど欧米各地でリサイタルを開催している。また、バリ管、ウィーン響、ライブツィビ・ゲヴァントハウス管などの一流楽団と共演。ファウスト、メルニコフとトリオ公演を行うなど、室内楽奏者としても活躍している。CDも数多くリリースしており、高い評価を得ている。使用楽器は1707年製作のストラディヴァリウス“Kaiser”（カナダCanimex Inc.より貸与）。現在、フライブルク音楽大学の教授を務めている。読響とは2019年にリゲティ、23年にアタイールのチェロ協奏曲を弾き、絶賛された。



©Marco Borggreve

読売日本交響楽団 第293回 土曜マチネーシリーズ

2027年 **1月16日** (土) 14時開演
S ¥8,800 / A ¥6,600 / B ¥5,500 / C ¥5,000

読売日本交響楽団 第293回 日曜マチネーシリーズ

2027年 **1月17日** (日) 14時開演
S ¥8,800 / A ¥6,600 / B ¥5,500 / C ¥5,000

東京芸術劇場 コンサートホール (池袋)

東京都豊島区西池袋1-8-1 Tel. 03-5391-2111

●JR・西武池袋線・東武東上線・東京メトロ「池袋」駅西口より徒歩2分 (*駅地下通路2b出口と直結しています)

■学生の方は残席がある場合、¥2,000で入場できます (要学生証/25歳以下)。ただし席を選ぶことはできません。開演1時間前から受付で整理券を配布します。読響チケット 東京芸術劇場には一時託児サービスがあります (公演1週間前までに予約)。株式会社明日香0120-165-115 (予約受付: 平日9時~17時) ■都合により曲目、出演者等が一部変更される場合がございます。■ご購入いただいたチケットは、公演が中止になった場合以外でのキャンセル・払い戻しはできません。あらかじめご了承ください。■未就学児のご入場は、固くお断りいたします。

読響チケットセンター 0570-00-4390

*10時~18時・年中無休

読響チケットWEB <https://yomikyo.pia.jp/>

*座席選択可/チケット郵送料無料



プレイガイド

チケットぴあ <https://t.pia.jp/>

東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296